

(参考3)

告示された技術の入手先

告示番号	方法名	技術提供元
第1の1	前処理に、硫酸シリカゲルカラム及び活性炭カラムを使用し、測定に、ダイオキシン類応答性組換え細胞 H1L6.1c2 を用いたレポーター遺伝子アッセイを利用してダイオキシン類の毒性等量を測定する方法	本技術は、株式会社 日吉からケイラックスRアッセイ (CALUXR Assay) として提供されており、本測定方法を自社で取り扱いたい分析機関におかれましては、株式会社 日吉にお問い合わせ下さい。
第1の2	前処理に、硫酸シリカゲルカラム及び活性炭カラムを使用し、測定に、ダイオキシン類応答性組換え細胞 101L を用いたレポーター遺伝子アッセイを利用してダイオキシン類の毒性等量を測定する方法	本技術は、日本環境 株式会社から P450 Human Reporter Gene System (P450HRGS) として提供されており、本測定方法を自社で取り扱いたい分析機関におかれましては、日本環境 株式会社にお問い合わせ下さい。
第1の3	前処理に、多層カラムを使用し、測定に、ダイオキシン類応答性組換え細胞 HeB5 を用いたレポーター遺伝子アッセイを利用してダイオキシン類の毒性等量を測定する方法	本技術は、株式会社 住友化学から Ah ルシフェラーゼアッセイとして提供されており、本測定方法を自社で取り扱いたい分析機関におかれましては、株式会社 住友化学にお問い合わせ下さい。
第2	前処理に、多層シリカゲルカラム及びカーボンカラムを使用し、測定に、抗ダイオキシン類モノクローナル抗体と、検量線作成用標準品及びプレート固相抗原を用いた抗原固相化-酵素免疫反応を利用してダイオキシン類の毒性等量を測定する方法	本技術は、株式会社 環境ソルテックからダイオクイッカー (又は、5-F 抗体酵素免疫法) として分析キットが提供されています。本測定方法を自社で取り扱いたい分析機関におかれましては、株式会社 環境ソルテックにお問い合わせ下さい。

注：以上の技術は法に基づく測定であることにかんがみ、非差別的かつ妥当な条件で、分析機関へ提供されることとなっています。

また、以上の測定方法は、分析機関には上記の会社との契約等のもとに提供されますので、それぞれの測定方法を扱っているかどうかは各分析機関にご確認下さい。